

第3回泉佐野市子ども・子育て会議議事録

開催日時	令和7年2月20日（木）午前10時00分～午前11時20分
開催場所	泉佐野市立社会福祉センター 小会議室
出席者 （委員）	長瀬会長、今堀委員、井内委員、谷口委員、家治委員、西座委員、萩尾委員、堀井委員、森元委員
欠席者	ト田副会長、駒木委員、松田委員、中西委員、内田委員、岩田委員
事務局	子育て支援課課長代理：加賀 子育て支援課主幹：上本 子育て支援課保育係：奥村 子育て支援課児童係：萬野 ジャパン総研：福島
次第	1 開会 2 議題 （1）第2期いずみさのこども未来総合計画（案）パブリックコメント結果報告 （2）第2期いずみさのこども未来総合計画の最終案について 3 事務局からの連絡事項 4 閉会
資料	・ 次第 ・ 配席図 ・ 第2期いずみさのこども未来総合計画（案） ・ 第2期いずみさのこども未来総合計画（案）に対するパブリック・コメントまとめ ・ 第2期いずみさのこども未来総合計画 修正箇所一覧

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	次第1 開会
事務局	ただいまより令和6年度第3回泉佐野市子ども・子育て会議を開催します。皆様お忙しい中ご出席ありがとうございます。本会議の進行につきましては、泉佐野市子ども・子育て会議条例第5条第1項の規定により、会長が議長を務めることとされています。本日の資料の確認をいたします。
事務局	【資料確認】
事務局	委員15名中8名の出席があり、2名が遅れていらっしゃるになっています。条例第5条第2項に規定する委員の過半数の出席がありますので、本会議は成立していることを報告いたします。また、条例施行規則第3条の規定により、本日の会議は公開されることとなっていますので、ご理解・ご協力をお願いします。続いて議題に移りますが、この後の進行は長瀬会長をお願いします。
	次第2 議題
長瀬会長	年度末の忙しい時期に集まっていただきありがとうございます。今日はいよいよ大詰めに入り、いろいろなご意見をいただいて最終案をまとめていきたいと思えます。本日の案件は次第の通り2件となります。円滑な議事進行にご協力をお願いします。まず、「第2期泉佐野こども未来総合計画（案）パブリックコメント結果報告」について、事務局より説明をお願いします。
事務局	【議題1 第2期泉佐野こども未来総合計画（案）パブリックコメント結果報告について説明】
長瀬会長	ただいまパブリックコメントの紹介とそれを反映させての修正について報告がありました。本日配布された修正資料もありますので、両方をご覧ください、質問・意見があればお願いします。
谷口委員	先日の質問に対して、修正ありがとうございます。いのちの安全教育の文言も入れていただきありがとうございます。ただその内容を見ると、実際にはこの話は性教育・人権教育の一部を示しているもので、その背景には自分の心、体は自分のもので大事にしなければならないということがベースにあるものなので、これをベースにさらなる人権教育が花咲くようなことになればとてもいいと思います。変えていただいたのはありがたいですが、背景は深いところですので、こどもが自分のことが好きだと言えるようになればと思います。
長瀬会長	今のご意見は実施の中で反映していただき、また教育内容として重視していただくということでお願いします。よろしいでしょうか。他の方もこういう趣旨で実施してほしいといったことがあれば、事務局で持ち帰っていただければと思います。

	いいでしょうか。それでは、次の修正箇所の部分とも連動していますので、お気づきの点はそこでも出していただければと思います。次の議題に移ってまたご意見があればお願いします。それでは次のこども未来総合計画の修正について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【議題2 第2期いずみさのこども未来総合計画の修正案について説明】
長瀬会長	先ほどのパブリックコメントに関するところもありますし、番号の統合整理に関するところもありますが、修正案をご覧になってのご意見等があればお願いします。
谷口委員	多数の箇所を修正していただきありがとうございます。男女、父性・母性という表現も適当ではないのではというご指摘をし、修正していただきましたが、「計画案の修正箇所一覧」通し番号の29番、30番で男女を取っていただいたということですが、文章的には主語がなくなってポヤッとしてしまいますので、男女ともに、のところに「誰もが」といった言葉を入れた方がと思いました。また「男女平等」については、SDGsでは「ジェンダー平等」という表現になっており、ジェンダー平等の理念に基づくという表現の方が今に合うのではないかと思います。31番ですが、男女を抜いていただいたのはそれで良いと思いますが、固定的な役割分担意識の解消となると何の固定的な、ということがわかりにくくなっていますので、ジェンダー役割とか性役割という言葉がありますので、「性」「ジェンダー」のいずれかは入っていた方がよいのではと思いました。
長瀬会長	事務局どうでしょうか。確かに男女ともにという表現が抜けると主語がわかりにくくなりますので、誰もが、という言葉を加えることや、男女平等をジェンダー平等とすることも考えられること、男女が抜けた固定的な役割分担意識が性別にとらわれたものという意味で、解消の意味合いで残すことも考えられると思います。
事務局	29番の「男女ともに」を消した箇所については、誰もが、を追記するようにいたします。通し番号41番は、「性別による」を残すかまたは「ジェンダー役割」という表現に変更するかですね。
谷口委員	表現として難しいですが、LGBTを考えると男女というのも一部のマイノリティを差別してしまう表現になる可能性がありますので。男女の方が通りはよいでしょうが。
事務局	表題としては「性別による固定的な役割分担意識の解消」は修正なしとし、その後ろの「男女が共に」は削除してもよいように思います。主語がなくなるでしょうか。「誰もが」を入れるように修正します。
長瀬会長	性別だけではない固定的な役割分担もあるでしょうから、広くそういうものを解消していく、きょうだいの順などもあったかと思いますが、門地、生まれといっ

	た固定的な役割分担をなくしていくという意味では、項目も男女を外して「誰もが」にすることもできるでしょうから、判断が難しければ持ち帰って庁内で検討していただいてもよいと思います。性別以外も含むということもご理解いただけるでしょうが、男女とするとその問題だけに固定されてしまいますので、「誰もが」という表現にして、あらゆる固定的な役割分担意識の解消ということでもよいと思います。
事務局	皆様のご意見の通りだと考えます。
長瀬会長	そうして、自分らしい生き方を選択できるということで、焦点がぼける面はあるでしょうが、個人を縛るものを解消していくという意味ではそれで通じると思います。
事務局	そのように修正したいと思います。項目名は「固定的な役割分担意識の解消」とし、内容では「誰もが仕事と家庭を」としたいと思います。もう一点、168 番の中の「男女平等」を「ジェンダー平等」とするかどうかですね。
今堀委員	男女平等をジェンダー平等とするということですね。
長瀬会長	それで問題はないですね。
谷口委員	通り名的には男女平等の方がわかりやすく、施策決定にもいいかもしれませんし、ジェンダーという中に取り立ててマイノリティのことをということが出てしまってもよくないかもしれませんが、ジェンダーには男女平等も入っていると思います。女性が昇進していくなどの環境をこどもたちの時代から進めていく。男女でもいいかもしれませんが、広くとるなら、SDGs もジェンダー平等とありますので、ここで変えてもよいと思います。
事務局	168 番もジェンダー平等の理念に基づくと修正したいと思います。
長瀬会長	男女平等ではなくジェンダー平等の理念、認識という表現で文言を統一することによってよろしいでしょうか。ご異議がなければ 168 番と 172 番を併せてジェンダー平等としていただければと思います。他にないでしょうか。それぞれのお立場や以前に出した意見もあると思いますので、反映され修正されていますでしょうか。私から軽微な質問ですが、項目 23 番の公園施設整備の充実について、LED 照明等の具体的な表現になっていますが、あえて入れている理由があればお示しください。
事務局	事務局案としての見直しですが、大きく言えば環境改善ですが、総務省の地方財政措置として子ども子育て事業債という国からお金が下りる新しい財源が創設されました。その財源を活用するためには、自治体のこども計画に明記をしていることが必要だという要件があります。それを受けて、113 番ではこどものためのトイレの改修等を予定しており、環境改善について記載しておく方が財政面で選択肢が増えるということで、記載を加えたものです。114 番も同様ですが、LED 照

	明は蛍光灯がもうすぐ生産がなくなるということで変更していかなければならないのですが、子育て支援施設もまだすべては移行していませんので、LED照明と具体的に記載を加えたものです。
長瀬会長	113 番が私立園で、114 番が公立なので、公立だけ補助をするのだと思われなかと懸念しましたが、113 番も広く環境改善で当然トイレや照明もすべて入るという理解でいいですね。
事務局	114 番だけ公立園で想定されるため記載を入れましたが、民間園と公立園の補助を分けて考えることは思っておりませんし、民間園についても財源を活用できるよう環境改善という文言を加えたということでご理解いただければと思います。
長瀬会長	わかりました。他にありませんか。
谷口委員	50 ページ 34 番のこどもの予防接種についてですが、定期接種については2歳くらいからありますが、後の子宮頸がんワクチンなどは周知がうまくいかない問題があり、インフルエンザワクチンの記載の前に、こうした周知や啓発について文言を入れていただくことは可能でしょうか。今でも取り組んでいただいています、文言としてあればうれしいです。
長瀬会長	いかがでしょうか。
谷口委員	その必要性を知らない人も多く、キャッチアップの取り組みもしていただいています、実際には前回のワクチンが始まった当初は全体の7割くらい、いまは30%程度で、知らないままに経過している人が多くなっていると思います。打つ打たないは自分で選択することですが、知らない人への情報提供は必要だと思います。
事務局	昨年か一昨年からキャッチアップを始めており、今回も予防接種事業は定例会で費用について補正するとなっています。キャッチアップの周知はしておりますし、HPV以外のワクチンもあると思います。なかなか国が想定する数値に届いていない、全体でも接種率が上がっていない状況ですので、周知を今後も続けていくことは重要だと思っております。34 番のこどもの予防接種の中に「周知を含め」といった文言を追加することを考えればよいでしょうか。
谷口委員	ワクチンは公衆衛生の観点からするもので、一人だけ注射を打ってその人がかからないというだけではなく、集団として、インフルエンザで亡くなる、入院する人が減るのは社会的に効果が高いという目的です。どうしても副作用が怖いからと言って避ける人がいて、それは個人的なことですが、どれくらいの阻止率があってという情報もなく、痛いし、またかかるからやめるといったことにならないよう、いろんなチャンネルから情報が伝わるようにしてほしいと思います。生まれたてのこどもは接種率が高いですが、そのあとの任意に近いものについてはどういうものがあるかも知らないというのはどうかと思います。今後鳥インフルエンザもくるでしょうし、死亡例も出てくるわけです。そこで慌てて周知をすると

	いうのは遅いと思いますので、平時からこういうワクチンはこういう大切さがあるといったことを伝えて、するかしないかは本人の選択ですが、その機会をするために周知という文言を入れていただければと思いますし、できれば学校でやっていただければと思います。
事務局	ありがとうございます。具体的にどのように反映させればよいかと思うのですが。
谷口委員	周知を含めという文言を「実施する」の周辺にいれて、ワクチンの必要性を周知し、といった文言が入ると良いと思います。
事務局	インフルエンザだけというところは問題でしょうか。
谷口委員	インフルエンザワクチンの助成は助かっています。書いていただいているなと思っています。
事務局	ワクチンの周知はすでにしておりますし、今後も接種率が上がるように努めるということで、追加したいと考えます。
長瀬会長	例えばですが、蔓延を予防するために、の後にワクチンに関する情報提供と周知を図り、といった形で、周知と実施と費用助成の3つをやるということを並べていただくと、ご指摘のように知らない人がいるということを考えると、公衆衛生の観点から一人だけではなく全体を守るという考え方から、まずワクチンに関する情報提供と周知を図るのが最初、そして予防接種をすること、その時に費用助成をすること、という3つの流れではどうでしょうか。
事務局	ありがとうございます。
谷口委員	素晴らしいと思います。
井内委員	学校現場ですが、インフルエンザワクチン費用の助成があまり周知されていないようで、どうせかかるから、という保護者も結構います。2学期の終わりに本校も周りも学級閉鎖があり、終業式ができずに3学期を迎えたということを聞いていますので、こうして保護者に周知できれば、または知っている人が増えると学校運営上助かると思いますし、谷口委員の指摘は大変良いことだと思います。
長瀬会長	知っていれば選択肢に入れてもらえると思いますので、そこに追記をして、周知等、実施等、費用助成の3本柱を入れるとわかると思います。他にはいかがでしょうか。最終案となりますので、お気づきの点があれば出していただければと思います。
堀井委員	63 ページの 95 番、一時預かり事業です。私も利用させていただいたのですが、子育て支援サービスについて、保護者の病気等の際に緊急的となると、保護者が切羽詰まった時の利用なのかなということが一つと、園の都合で余裕のある時しか利用できず、緊急的には利用できなかったということがあり、言葉と現状が乖離しているように思います。余裕がないと受け入れてもらえないのは仕方ないと思

	いますが、利用できる機会がもっと増えるといいのにと思いました。1人目の時はこども園と日程を合わせて利用しました。2人目は0歳ということもあって預けられませんでした。私は自営業で事務所にベビーベッドを置きながら抱っこひもで背負って4月までやっていましたので、緊急的ではなくても利用できるようなればいいなということと、ここの文言はどうなのかということについて、いかがでしょうか。
事務局	現状はご指摘の通りです。緊急というか今すぐ預けたいという状況ですね。今後はこども誰でも通園制度なども検討していきますが、現状は緊急で一時的となっており、園の事情もあって、今のニーズに答えられていない点は課題として認識しています。パブリックコメントでも同様の意見があり、たくさん電話してもどこも断られる、利用したくてもできない、というのはおっしゃる通りです。施設整備や財源の関係もあり今後も課題としたいと思っております。
長瀬会長	緊急でもなくともリラックス目的も含むので、もちろん園の受け入れとして緊急度を優先することもあるでしょうが、一時預かり事業そのものは緊急サービスではないので、誤解があるかもしれません。「等」をいれて緊急以外も含むなどしてもいいかもしれません。サービスを必要とする人が利用できるよう枠を確保するのは必要ですし、緊急の人が優先はそうなのですが。
事務局	緊急的サービス等と「等」を入れるのはどうでしょうか。
長瀬会長	「病気等の際に一時的に児童を預かる」というのはどうでしょうか。
事務局	「緊急的保育サービスとして」が無くても事業としては問題ありませんので、その文言を省いた説明に変更します。
長瀬会長	委員がご指摘の通り、なかなか必要な時に利用できない実態がありますので、枠の確保や園の協力は必要になりますが、サービスとしては必要な人が受けられるものとして性格ははっきりさせていただければと思います。パブリックコメントにも意見はあったということで。人材不足もあり園もぎりぎりのところですので無理は言えませんが、できる限り枠を広げていくのは必要だと思います。他にいかがでしょうか。大体は出していただけたでしょうか。
今堀委員	今回久しぶりの出席なのですが、私自身の問題意識として保育士の労働条件、特に給与ですね。一時金という形での改善は国も自治体も行っていますが、ベースアップ、基本給がきちんと上がっていくという、措置費で実施されていた時代は措置という形での補助金の縛りがあり、各事業所で人件費として支給される補助金は人件費として使わなければならない縛りがあったのが、待機児童ゼロ作戦というところで、保育所を増やすことを第一目標として、人件費の縛りが緩くなってしまって、施設によってはベースアップをしっかりとしない、初任給は他の企業と変わらないけれどベースアップをしなくて非正規雇用と正規雇用と変わらない

	ような給料の状態というのが現状あると認識しています。保育士不足が社会問題となって、目標は掲げられているものの、実際に担ってくれる保育士がいない、保育をしたい若者が増えない、そういう社会を変えていくための記載が必要ではないかと思います。今回が難しければ次回への要望として、述べさせていただきます。
長瀬会長	事務局いかがでしょうか。
事務局	南大阪の子育て支援の部局で集まった会議もありますが、どこも同じ課題を抱えており、どういった施策なら効果があるかといった話し合いをしてきました。各自治体いろんなことをしており、本市では市内の保育所等に保育士が新たに就職すると一時金を出すような制度も設けています。実績も上がっており、保育士の給与についても令和6年度の人事院勧告に基づいて処遇改善の加算率が増えたということで、3月議会にも人件費の上昇について諮っています。これらの国所定の部分是对应しており、引き続き給与については保育士だけではなく内部でも検討を進めているところです。実情としては進めているところですが、計画には給与形態や保育士不足にどう考えるかという記載は今のところありませんので、それについてはいったん持ち帰って検討をする必要があると考えております。いったん持ち帰りをさせていただきたいと思います。その場合、また書面にて最終結果をお伝えしてこれでよろしいでしょうかという流れで構わないでしょうか。
今堀委員	持ち帰っていただけるならありがたいですが、大丈夫でしょうか。今回が最終ですよ。そこは何としてでも入れろということではないです。
事務局	計画に入れると市のことだけならよいですが、民間園の話にも発展すると、計画としてどう進めるかという議論が生まれてしまいますので、今のご意見は参考にさせていただき計画への反映は考えたいですが、次回以降の課題とさせていただければと思います。
今堀委員	そういう要望を早期に出していればよかったと思いますので、問題意識としてここで共有していただき、今後検討するときに、特に問題は公立ではなく私立で働く人の問題、公立はベースアップがあるでしょうから、私立はベースアップがないか不十分、それが人生設計にも年金にも関わりますので、一時金ではなくベースアップをとという問題提起をさせていただければありがたいです。
事務局	事務局としてもご意見を受けて考えていきたいと思います。今回の計画では記載は追加しないということをお願いします。
長堀会長	計画への記載はかなり調整が必要なことだと思います。大事なことです。しっかり議論をして、次の計画に位置付けられるよう進めていくということで、持ち帰っていただいて早急に可能性を探っていただければと思います。他のところはよろしいでしょうか。特に修正が無ければ、ただいまいただいた修正も含めての

	ご承認ということでよろしいでしょうか。ありがとうございます。たくさんご意見をいただき理解も深まり、より適切な文言になったかと思います。これで計画の最終案とさせていただきますので、今の意見を整理して最終案としてください。以上をもちまして本日の議題はすべて承認をいただきましたので、終了となります。円滑な議事進行にご協力いただき感謝します。連絡等がありますので、事務局に進行をお返しします。ありがとうございました。
事務局	本日の会議の委員報酬の支払いについては、市に登録いただいている口座に3月7日に振込予定です。口座の変更等があれば事務局までお願いします。ご質問等はないでしょうか。それでは以上をもちまして本日の会議を閉会します。どうもありがとうございました。
	(終了)